

枝小だより

R 3.10.27発行 No.8

本校の教育目標「ひとつ」

ひらく～自ら学びを切り拓く～
つながる～知恵と力を合わせる～
ととのえる～自立の力を高める～

2020年3月制定

自分とは異なる他者を認め、 協働できる力を育てたい！

校長 青山 天生

以前、私が勤務した学校ではイギリス、ロシア、韓国、ネパールなど諸外国から、毎年のように転入生が来ていました。ほとんどの場合、日本語を話すことができないので、英語を介して日本語を母国語に変換し、「サバイバル日本語」を一つずつ習得しながら学習を進めていました。それぞれの進路は、日本の高校に進学した生徒や母国に戻った生徒など様々ですが、異国の地で生き抜く本人と保護者の努力は大変ものがありました。さらに私がいつも感動していたことは、ねばり強く支えた日本語指導教員や学年教員の努力はもとより、まわりの子供たちの「力」でした。生まれ育った環境は異なりますが、差別や偏見はなく、いつも温かく迎え、我が国や北海道の文化、学校生活のきまり等を丁寧に教えていました。アメリカの姉妹都市との交流会では、英語を話せることがストロングポイント（強み）であることに気づき、通訳の役割を全うした結果、学級のヒーローになった生徒もいました。



（この文章は上記の段落の一部を再掲しています）

さて、10月17日（日）に行う「学習発表会（全校）」や同20日（水）から予定しています「修学旅行（6年生）」の学校行事のねらいを改めて確認しました。そこには、「それぞれの体験的な活動を通して、各学級への所属感・連帯感を深め、公共の精神を養いながら、『資質・能力』を育成する」とあります。

この場合の『資質・能力』は、自分とは異なる他者を認め、受け容れながら、新たな価値を協力して創り出す力です。自分の思い通りにならない他者を、見方・考え方や趣味、性格等が合わないからと言って遠ざけ、自分自身の狭い世界に閉じていては育たない力です。子供たちが活躍する今と将来は、地域や国を超え、インターネット等を通じた仮想的空間での他者との関わりもますます増えていきます。

学習発表会や修学旅行の当日の様子や取組の過程を通して、こうした資質・能力が育まれているのか、ご家庭でもお子さんとの対話を重ねていただければ幸いです。（10/15）



学習発表会 大成功！

子どもたちは、カー杯がんばりました！
たくさんの方が足を運んでくださいました。
温かい声援と拍手、ありがとうございました！



＜学級通信の発行について＞

原則、毎週発行しています学級通信ですが、学校における働き方改革を進めるにあたり、この度、本校では学級通信発行の在り方を見直すこととしました。今後は、毎週金曜日に必ず発行されるとは限りませんので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。時間割については必ずお伝えしていきます。

なお、金曜日にお休みをしたご家庭は、お手数をおかけしますが、時間割などの配付物を学校まで受け取りに来ていただきますようお願いいたします。

***学校における働き方改革～教員が子どもと向き合う時間や教材研究の時間を確保し、その結果、教育の質の向上を目指す営みです。**

ライオンズクラブの皆様から 行事予定

10月8日にライオンズクラブの皆様から「マスク」の寄贈がありました。誠にありがとうございました！子どもたち一人一人に1箱ずついただき、早速配



付いたしました。地域の方々が、子どもたちのため、そして学校のためにご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症だけでなく、風邪なども流行する季節となりました。どうぞご活用ください。



- 1日 視力検査1年
- 2日 視力検査4年
- 3日 文化の日
- 5日 児童総会
- 9日 町の研究大会のため
午前授業（給食あり）
- 14日 連P大会講演会
- 15日 家庭学習頑張り週間
- 21日 アウトメディアデー
- 23日 勤労感謝の日
- 25日 参観日2/4/5年
- 26日 参観日1/3/6年

*なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、変更することがあります。

7月21日から枝幸小学校のホームページを開設しています。
「学校だより」「教育活動などの様子」等を掲載していますのでご覧ください。

<https://esashi-elementary-school.edumap.jp/>